

Weekly Bulletin 2021-2022



RI会長
シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

静岡東ロータリークラブ

会長／川崎依子 幹事／長田きみの

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
川崎依子

第3016回例会

令和4年5月12日

《司会》長田 きみの 君

《合唱》「我等の生業」

《ソングリーダー》林田 尚翁 君

《ゲスト》元常葉大学教育学部附属橘小学校長

小林 成樹 様

《本日のお祝い》

- ・お誕生日 該当なし
- ・結婚記念日 該当なし

《会長挨拶要旨》川崎 依子会長

皆様、こんにちは。長いゴールデンウィークのお休みが終わりました。皆さんはどのようにお過ごしでしたか？ 各地はコロナ前の人出で賑わったようですが、コロナ感染が増えて心配ですね。

さて、本日の理事会で例会費の寄付先をスペシャルオリンピック静岡のボウリングプログラムに寄付することを決定しました。毎月2回、日曜日の16時から神明ボウルで実施していますが、6/19に静岡東ロータリークラブから参加を募り、寄付・贈呈をしたいと思えます。詳細は幹事報告に記載しますので是非とも参加をお願いします。

さて、本日は青少年奉仕クラブフォーラムの日です。元常葉大学教育学部附属小学校校長 小林 成樹（しげき）様をお招きし「学校が育てた蕾を、地域社会が咲かせ、果実にする」と題してお話ししていただきます。

小林様は1944年東京生まれ。

1970年青山学院大学院修士課程修了後、静岡で教員になられ、ご専門は英語だそうです。静岡市立長田南中、観山中、県立静岡南部特別支援学校の3校で校長をされ、ご退職後は常葉大教育学部附属橘小学校の校長となられ、2011年に退職されました。橘小学校に勤務されながら静岡市立服織中学校「学習支援の会」というボランティアの会で活動されました。服織中学校の生徒さんたちに夏休みなど通常授業の無い時期に課外授業をされたそうです。服織中学校の生徒のお母さん達や卒業生、また常葉大学、静岡大学の学生さんたちもアシスタントとして参加して、毎年和気あいあいとした楽しい授業が行われていたということです。この学習支援の会自体は、残念ながらコロナ禍によりしばらく休会の後、昨年春に一旦解散されたとのこと。

《クラブフォーラム（青少年奉仕）》

「学校が育てた蕾を、地域社会が咲かせ、果実にする」
元常葉大学教育学部附属橘小学校長 小林 成樹 様

《卓話サマリー》

1. 子供の満足度

(1) 承認欲求と自己実現欲求

子供は承認欲求の度合いが大きいほど、満足度は上がり、自信がつくことでさらに実現に向けて歩み出す。一見自己満足だけが満たされているように見えるが、人の役に立っているという利他的欲求の充足にも繋がっている。

(2) エピソード1「はじめてのおつかい」

はじめていろいろ困難を乗り越えて買い物をする。一番表情が変わるのは最後のお母さん（家族）の姿を見た

き。多くの子供は泣きますが、それは悲しいわけではなく、「ほっとした」「ミッションを完了した」という自己満足によるもの。撮影終了後にお母さんの「ありがとう、助かったわ」と喜んでくれたことが自信になり「また行くよ」という自己満足だけではなく、母が喜んでいうという利他的欲求がその中にある。

2. 家庭・学校・地域社会が育てる利他の欲求

(1) エピソード2 『『かわいそう』と思う気持ち』

先生はきれいなお花を持ってきてくれた生徒 M 子さんに、教室がぱっと華やいだことにお礼をいい、他の生徒にも持ってきてくれるように頼みました。その際、生徒 J 君は「買ってきてもいいか？」と聞いたので「買わなくても登校途中に道端に咲いている花を採ってきてくれればいいよ」と答えたところ「道に咲いている花を採るなんてかわいそう」と不服。

この話題を道徳で取り上げたところ、J 君は「売られている花は買われるためにあるんだからかわいそうじゃないけど道端の花は自力で育ったんだからかわいいそう」と。そんな論議が続く中でいずれにしても花の価値を認めてあげることが重要と先生がまとめようとしたときに普段あまり発言をしない生徒 T 子さんが「他人事だからかわいそうと言える、自分のことだったら言葉にならないで下を向いているだけだと思います」といい、教室中がシーンとしました。そこで先生は軽く使っていた「かわいそう」の言葉も心から相手に共感していないと安っぽい同情に終わってしまう、今回のお花は「かわいそう」と表面的にいうより、「ありがとう、教室が明るくきれいになったよ」と感謝した方がお花を大事にしていることになるかもしれないと結びました。この授業のあと、一部の生徒は花瓶の水替えや花壇の水やりに気配りを自発的に行うようになったそうです。

(2) 単なる知識はや理解は自発的な利他活動の栄養にならない

道徳が教科になったことで、生徒を評価しないといけなくなった。そのため、無関心の生徒も模範解答をするようになったが、理解しているが実際の行動にならないため自発的な利他的活動が育たない。

(3) 地域との関わり

地域で防災訓練を実施する際にこれまでは高校生を訓練を行ってきたが、地域に居住していない生徒が多いため中学生を呼び日曜日に部活を中断して訓練を実施したが地域は「中学生はなにもやらない」、中学生は「何をやっていいのかわからない（自発的に何をやっていいのかわかならい）」と双方から評判が悪かった。その後役割を明確にして実施したところ中学生も目を輝かせて参加した。地域も中学生を理解するためにコミュニケーションをとって進めないと利他的活動は育たない。

3. まとめ

子供が人とかかわる、感動体験を訓練する場として学校行事は重要。とりわけ、義務教育期間である小学校、中学校の間が重要。子供の自己実現は育つために重要であり、自信を持ったとき、生きていることの喜びを感じる。

《所感》

人に喜んでもらうことで、自信に繋げ、さらなる活動に繋げる。何も子供に限ったことではなく、大人の我々もまさにそれが生きる喜びになっていると思います。自発的に利他的活動をするには感動体験をさせる、怒るだけでは人財育成はできないことを痛感しました。

《スマイル報告》

新聞 桂子君

松坂屋さんの水族館を大勢で見せていただき、ありがとうございました。小さくてきれいなお魚がたくさんいて、孫たちもたっぶり楽しんでいました。

山川 雅久君

ゴールドデンウィークに福岡に居る長女も参加して、久々に家族4人で家内の誕生日をお祝いしました。

次女がミシュラン獲得の懐石料理店を手配してくれたので、私の出費が嵩んだのは正直打撃でしたが、家族みんなが元気で美味しい料理を楽しめたことに感謝してスマイルします。

落合 功男君（結婚記念日の御礼）

《ご案内》

1. 地区大会のご案内

日時：5月22日（日）

場所：YCC 県民文化ホール

（〒400-0003 山梨県甲府市寿町 26-1 Tel：055-228-9131）

日程：受 付	12：00
開会点鐘	13：00～
記念講演	14：35
休 憩	15：30
活動報告他	15：40～
閉会点鐘	16：20

※クールビズかどうかは確認中

2. 令和4年あすなろ会ゴルフコンペ開催のご案内

日時：2022年6月10日（金）

開始：9：00 ～ 3組

場所：静岡カントリー島田コース

T E L 0547-38-1313

※前回ご案内致しました日程・開催場所等が変更されておりますので、ご参加いただける方は5月19日（木）までに事務局までご連絡をお願い致します。

3. 例会食事の再開について

次週より例会時の食事提供を再開します。

（会報作成 生田 陽一）